

プログラム番号

06030

## 平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

## 【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	静岡大学 創造科学技術大学院 自然科学系教育部		
②学長名	天岸 祥光		
③所在地	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836		
④事務担当者 連絡先	所属部局・職名	国際交流センター 国際交流チーム 主査	
	担当者氏名	鶴田 泰明	e-mailアドレス turuta-y@adb.shizuoka.ac.jp
	電話・FAX番号	TEL:054-238-4260 FAX:054-238-5041	
⑤ホームページURL	<a href="http://www.shizuoka.ac.jp/index2.html">http://www.shizuoka.ac.jp/index2.html</a>		
⑥大学院在学留学生数	116人(うち、国費留学生 42人)		

## 【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	中東欧・アジア地域国際連携教育プログラム
②プログラムの形態	博士後期課程(3年間)
③実施研究科・専攻	創造科学技術大学院 自然科学系教育部 ナノビジョン工学専攻
	(所在地) 静岡県浜松市城北3-5-1
④連携大学・研究科・専攻名	創造科学技術大学院 自然科学系教育部 光・ナノ物質機能専攻
⑤受入れ学生数	15人(うち研究留学生優先配置希望人数:5人) (うち日本人学生数: 0人)
⑥担当教員数	合計 43人(うち専任:43人、兼任: 人、非常勤: 人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 創造科学技術大学院・大学院長
	研究科長名 水野 忠則

### 【3. プログラムの内容】

#### ◆趣旨および目的

中東欧およびアジア地域の協定大学から多くの優秀な留学生を受入れ、本学創造科学技術大学院において、以下の3項目に重点をおいて高度の教育研究を実践することを目的としている。

- ・ 留学生の教育研究能力の向上
- ・ 協定大学との国際交流ネットワークの構築
- ・ 学術分野『ナノビジョンサイエンスおよび光・ナノ物質機能』に関する教育・研究の国際競争力の強化

#### ◆内容・特色および指導体制

##### 国際競争力を強化するプログラム

深い専門の知識と広い関連分野の知識を持つ国際性豊かな研究者を育成することを具体的に実践する。

厳選された専門科目と、周辺分野の理解力を高めるための総論科目、隣接専門領域への関心を深め知識を広げるための新領域科目と基盤的共通科目を用意している。これらの科目と特別研究分野の相互関係を図1のカリキュラム構成図に示す。

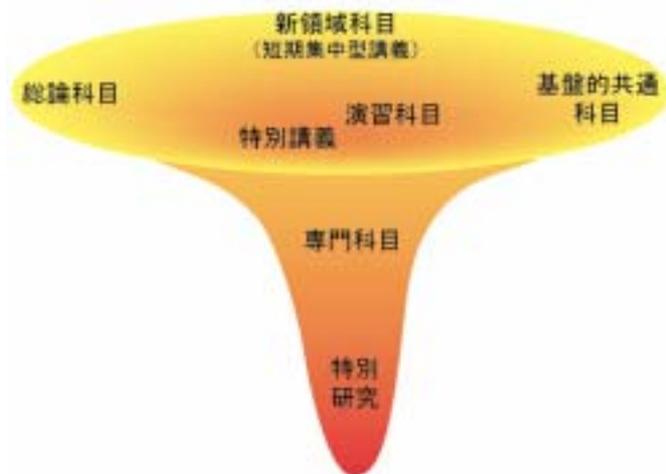


図1. カリキュラム構成図

##### 本専攻の特徴

本専攻は、テレビジョンの父である「高柳健次郎博士」以来の伝統を持ち、世界トップレベルにある光・電子工学を基盤とした画像工学に関わる研究分野を特色としている。文部科学省の21世紀COEプログラム、知的クラスター創生事業、教育研究経費『画像ナノエレクトロニクス研究創出事業』が推進されている。

##### 人的ネットワークの形成強化・国際連携による留学生の指導

中東欧協定大学と行う国際会議『Inter-Academia』や、中国協定大学との間での国際会議『JICAST』を数年にわたり開催して、人的ネットワーク作りが進展している。さらに静岡大学と協定大学の両大学で共同して研究指導を行い、同時に博士の学位を取得することのできる制度（ダブルデグリー特別プログラム）に基づき、協定大学の学生を受け入れている。この制度を他大学にも広げて、学生・教員の国際的ネットワークを強化する方針である。現在、国際シンポジウムを共同して定期的に行って人的ネットワークの形成と国際連携を強化している。シンポジウムを本学と定期的で開催している大学は、ワルシャワ工科大学、ブダペスト工科大学、コメニウス大学、ヴッパータール大学、アレクサンドル・イワン・クザ大学（Inter-Academia）、浙江大学（JICAST）である。

##### 留学生に配慮した講義科目・研究指導

本プログラムの使用言語は英語であり、講義および研究指導を英語で行う。毎週月曜日に博士学生、指導教員・研究員が一堂に介して研究発表・討論を行う Monday Morning Forum (MMF) を開催している。MMF を通して、博士学生の研究発表能力を高め、博士コースワークの促進を図る。また、博士論文の指導は主指導教員の他に自専攻および他専攻から各1名の副指導教員が、きめ細やかな指導を行う。授業科目および教育・研究指導の関係の全体像を、図2に示す。

##### 大学の国際化の促進

現在開催している国際シンポジウム、Inter-Academia および JICAST をますます発展させ、国際連携による人的ネットワーク強化と博士学生研究・教育の進展に有機的に結びつける方針である。そのためには、ダブルデグリー特別プログラムを強化・拡大して学生・教員の相互交流を促進する。

### 募集方法、募集対象国、選考方法

中東欧およびアジアの協定大学の研究者を通して募集を行う。同時に、ホームページを通して広報活動を行い、本学の国際交流センターによる募集を行う。

募集対象国は、協定大学のあるポーランド、ハンガリー、スロバキア、ドイツ、ルーマニア、中国、韓国、タイを優先するが、その他の国の大学からも応募が可能である。

学内の教務委員会が、応募学生の応募書類の審査と共に、インターネットインタビューを使って学力の面接試験の成績を総合的に判断して可否を決定する。非協定大学からの応募に対しても、学力優秀な学生については、定員の範囲内で受け入れる。

### ◆実施・評価体制

本プログラムの実施は、専攻長のリーダーシップのもと、教務委員会（特別講義委員会および進捗管理・FD委員会により構成）、授業科目別委員会、評価委員会を設置し、綿密な連携を取りながら組織的に行う。また、本プログラムがその目的に沿って有効に機能しているかを点検・評価するため、評価委員会により、

留学生在本プログラムの研究指導により、学位を授与されるに相応しい、十分な研究能力を身に付けることができているか

の観点から評価を行う。さらに、その結果に基づいて、講義・研究指導の方法にフィードバックする。

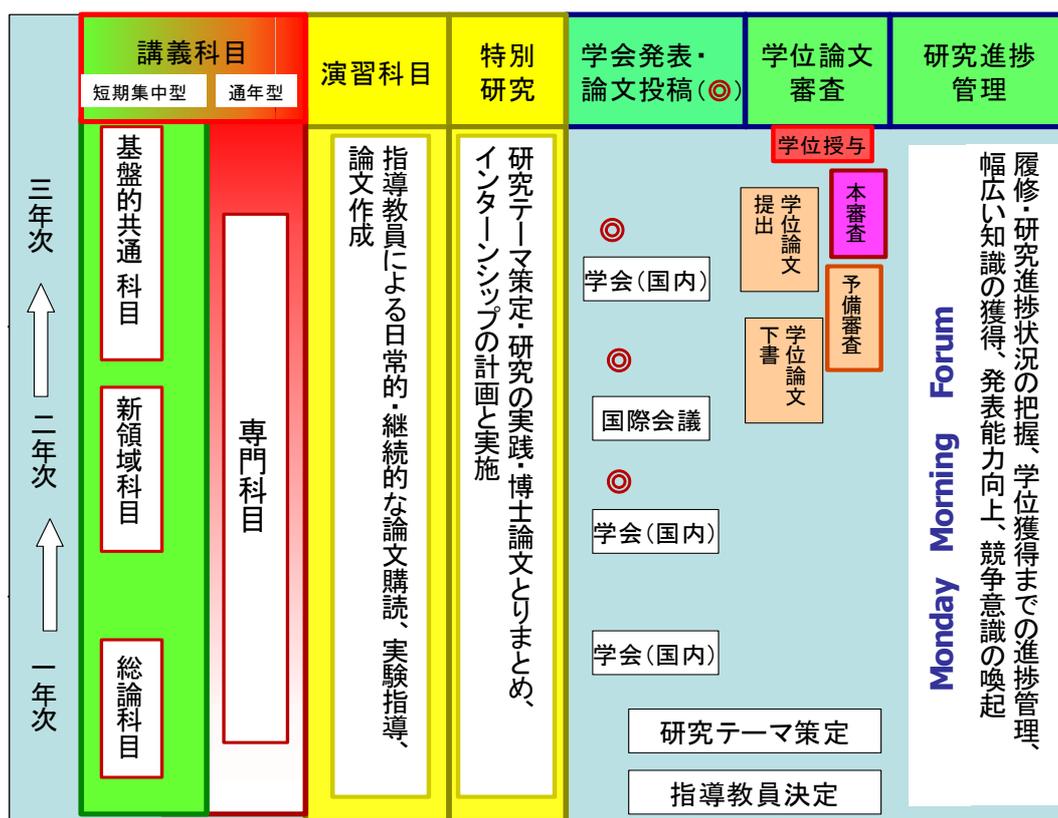


図2. 科目および教育・研究指導の関係